



港区立高松中学校 学校だより<第2号>

平成28年5月2日 校長 鈿持 利行

創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ>推進校 港区高輪1-16-25

戦争は人災ですが、地震は天災です。

校長 鈿持 利行

熊本県を中心に九州地方で、地震が続いています。4月14日夜に起きた地震は、熊本県益城町で震度7(M6.5)を記録しました。国内で震度7が観測されたのは、2011年3月の東日本大震災以来のことです。16日未明にも震度7(M7.3)の大地震が発生しました。最初、14日の地震を「本震」と発表した気象庁は、16日を本震とし、14日は「前震」に変更しました。一連の地震活動で震度7を2回記録したのは、観測史上初めてのことだそうです。被害に遭われた皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、現在も余震が続くなど不安な状況が続いているかと思いますが、一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈りしたいと思います。

戦争は人災ですが、地震は天災です。地震は大自然の営みであり、今のところ人の手では防ぐことができません。生徒の皆さんには、もし私たちの住む町に大地震が起きたらと自分の身に置き換えて、しっかりと学んでほしいと思います。そして、自分はその時どう行動すべきかを考えてみてください。

熊本地震で学校が休校し、授業を受けられなくなった熊本県内の小中高校などの児童生徒が、4月22日現在で404校の約15万人に上るそうです。県内の児童生徒約20万人の約75%に当たります。壁や天井など耐震化が不十分な部材を中心に被害が出た学校が少なくとも351校あり、被害は軽微でも避難所として使われている学校も多くあるそうです。

高松中学校は、港区の広域避難所に指定されています。日頃から大災害が起きた時のための備えを計画的に行っています。また、毎月の避難訓練はもちろんのこと、今年も、7月2日(土)に、消防署・地域の方を講師としてお招きして一年生が「防災訓練」を行います。10月15日(土)



昨年度の防災訓練の様子

には、本校を会場に高輪地区総合防災訓練が行われ、毎年、生徒会を中心に生徒も参加しています。私たちの地域にも大きな地震がいつ起きてもおかしくはありません。食べ物や水などの準備をするとともに、心の準備をしっかりとしておくことが必要です。人間は、災害発生に直面すると、気が動転して正しい判断や行動ができなくなることがあります。日頃の訓練をしっかりと、災害を最小限に食い止めることが必要です。この機会に、ご家庭でもどのような準備をしておいたらよいか話し合ってみてください。

学年主任の先生方から

【第1学年】 学年主任 宮本 史子先生

育てたい生徒像

「高松中生のあたりまえ」を実践する生徒
伝統を伝え、尊重し、新たなエネルギーを加える学年



学年目標

- ① 授業を大切にする。
- ② 集団生活のルールを守る。
- ③ 自分の役割は責任をもって果たす。

学年経営方針

「やってみせて、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」
をモットーに、自ら行動できる生徒を育てる。

【第2学年】 学年主任 吉崎 巖太郎先生

育てたい生徒像

思いやりのある心豊かな生徒

学年目標

- (1) 基本的生活習慣を身に付けさせる。
- (2) 他人を思いやる心を育てる。
- (3) 基礎学力の定着を図り、落ち着いた学習態度を養う。



学年経営方針

- (1) 各教員の個性、学級の独自性は尊重して行うが、教員の指導に偏りが生じないように、学年で統一した見解を持つ。
- (2) 常に生徒の実態を正しくとらえ、情報交換を密に行い、小さなことでも学年で相談する。
- (3) いろいろな問題に対しては、個人・担任まかせにすることなく、必ずチームで取り組む。

【第3学年】 学年主任 佐藤 稔先生

育てたい生徒像

- ・素直な生徒（敢えて「素直さ」を大切に考えています）
- ・自ら進んで物事に取り組む生徒（高松中の最高学年として）

学年目標

- ①自分のことだけ考えない
 - ②他人との接し方を身に付ける
- あいさつ、礼儀、言葉遣い

学年経営方針

3学年の生徒全員が生き生きとした学校生活を送ることができるよう、教員も団結していきたいと
思います。「自立した態度を育てる」を合い言葉にやっていきます。



緊急配信メール登録のお願い

4月18日(月)にテスト配信しました緊急配信メールですが、4月27日(水)の時点で加入率が87%となっています。緊急時における重要な連絡手段となりますので、まだ登録されていないご家庭は登録をお願い致します。登録方法を記載したプリントが見つからない場合は、副校長まで申し出て下さい。